

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA LAND CRUISER 70

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

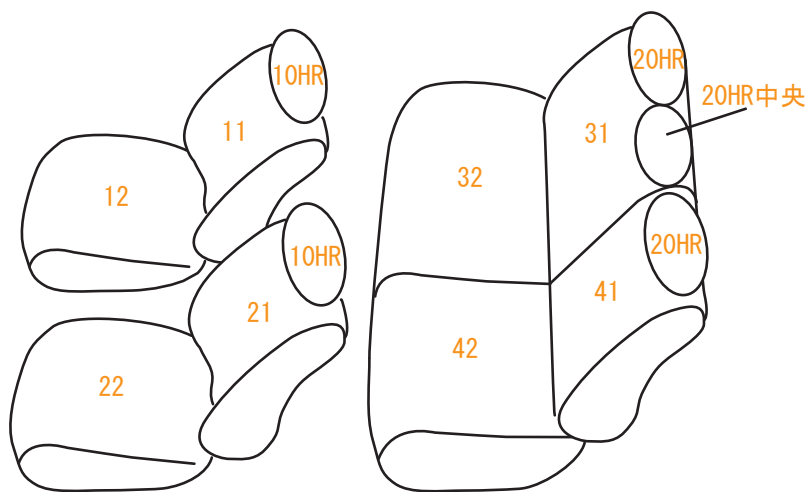
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P~4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P~7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 8P~9P
2 列目座面装着方法	…> 10P~13P
2 列目背もたれの装着方法	…> 14P~16P
ヘッドレストの装着方法	…> 17P~18P
完成図	…> 19P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 20P~21P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具

①



① クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



- 1** カバーをシートの前側から引っ掛けるようにして、シート全体にかぶせます。



- 4** カバー外側面の生地を、シートの背面側へ引き出して、**3番**で引き出した生地とマジックテープで固定します。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 5** シート外側の裏側です。
カバーの端に付いているプラスチックフックを、シート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 3** シートの背面側から入れ込んだ生地を引き出します。



- 6** リクライニングレバーの後ろ側です。
こちらも**5番**と同様に、カバーの端に付いているプラスチックフックを、シート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。
まず、金属フレームの端を手前に引き、フックを固定してください。



7 シート内側の前側です。カバーの端にはマジックテープのベルトが付いています。



10 この際、後ろ側のベルトは図のワイヤー部分の内側に通してください。



8 マジックテープのベルトをシートの裏側に入れ込みます。ベルトを、①シートの裏側にある金属フレームに巻き付ます→②折り返してマジックテープの端を貼り付けて固定します。



11 マジックテープのベルトをシートの裏側から引き出します。ベルトは必ずシートレールの上側を通して、シートの裏側に引き出してください。



9 シートの内側です。こちらにもマジックテープのベルトが2本付いています。マジックテープのベルトをシートの裏側に入れ込みます。



12 マジックテープのベルトをシート裏の金属フレームに巻き付けて固定します。



- 13** シートの前側に付いているベルトを、シートの裏側から通して、背面側に入れ込みます。



- 14** 入れ込んだベルトを、シートの背面側から引き出します。



- 15** 引き出したベルトを、3番で引き出した生地が付いているバックルに通します。



- 16** ベルトは①～③の順番でバックルに通します。
まず、バックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞込まれ固定されます。
ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意してください。



- 17** 3番で引き出した生地の上に、マジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 18** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法



- 1** カバーの両側面に付いているファスナーを開けておきます。シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 2** ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片方のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



- 3** 生地伸びを利用して台座を取り出します。本革を使用したカバーでは、生地端が裂けてくる場合があります。慎重に作業を行っていただければ、台座の幅以上に裂け目は広がらないので、作業は慎重に行ってください。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



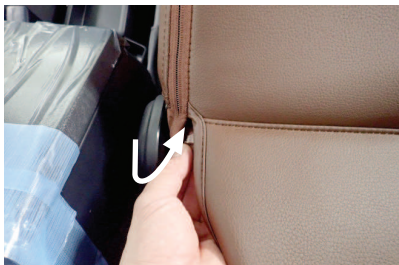
- 5** 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



- 6** ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せます。中央で余った生地を撫で下ろして、シートの下側に寄せていきます。寄せてきた生地を**5番**と同様にシートの背面側から引き出して、カバーをシートに密着させていきます。



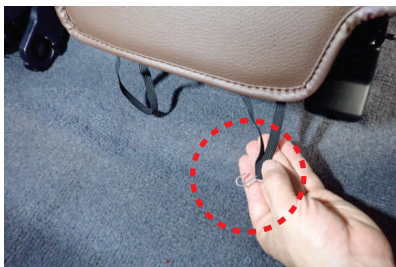
- 7** カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーは片側のみ閉じてしまわず、左右均等に引き下げていくようにしてください。
 ファスナーを閉める際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 8** ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 9** 5番で引き出した生地と、カバーの背面側の生地をマジックテープで固定します。



- 10** カバーの背面下側に取り付けられたゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 11** シートの軸部分です。外側・内側共に、軸の隙間に生地を入れ込みます。
 図の外側の生地は、ほとんど生地が引っ掛かる隙間がありません。生地を内へ向けるイメージで作業を行ってください。



- 12** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3

2列目座面の装着方法

運転席側



- 1** カバーを図のように開いて、中央席用のシートベルトを交わします。



- 4** 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。
生地を引き出しすぎると、カバーの位置がずれるので注意してください。



- 2** シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5** 引き出した生地を直接シートに貼り付けて固定します。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6** 中央席用のシートベルト周りに、生地を巻き付けるようにしてシートカバーをかぶせます。
シートベルトの横で、カバーをマジックテープで固定します。



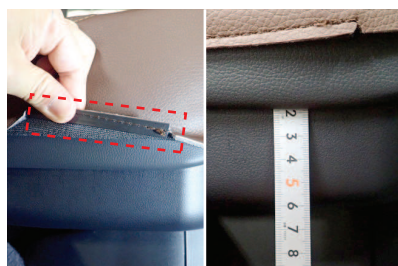
7 中央席の後ろ側には、カバーの端にマジックテープが付いています。



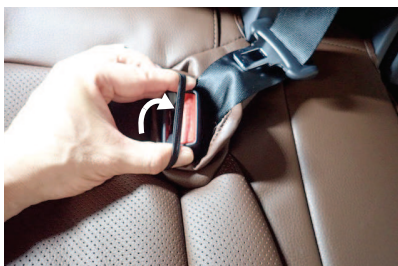
10 ここまでの作業で、一旦カバーのラインを整えます。



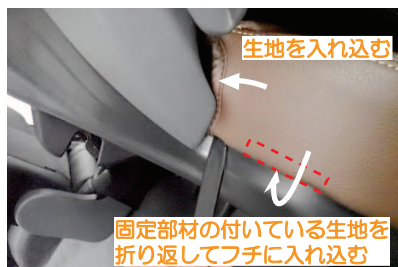
8 マジックテープが付いた生地を、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



11 シート下回りのカバーを固定します。カバーの端には、左図のように平らなのプラスチックの固定部材を複数箇所取り付けられています。シートのフチは、右図のように、奥行きが10～18mm程度あります。固定部材の付いた生地を、このシートのフチに入れ込み固定します。



9 運転席側用のシートベルトのバックルに、カバーに取り付けているゴムを通します。その後、バックル収納部の周りに生地を入れ込みます。



12 シート外側の付け根部分です。生地をプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。固定部材の付いている生地を、折り返してシートのフチに入れ込みます。固定部材が付いていない部分の生地も、同様に入れ込みます。



- 13** シート外側の側面です。こちらにも固定部材の付いた生地を、シートのフチに入れ込みます。シートのフチは固定部材が引っ掛かるような形状ではありません。そのため固定部材と生地を入れ込んで、下方方向に引っ張ればすぐに生地は外れてきます。ヘラを使用して生地を入れ込む場合は、①生地を入れ込む→②入れ込んだ生地を指で押さえる→③指で押さえた状態で入れ込んだヘラを抜く、という流れで固定部材の付いた生地を入れ込んでください。



- 14** シートの前側にも固定部材の付いた生地を入れ込みます。前側のプラスチックの固定部材は側面よりも長いので、抜けて来ないようにしっかりと入れ込んでください。



- 15** シートの前側と側面の縫い目部分です。こちらは、カバーの端が分かれています。分かれている生地部分のみ、シートのフチに入れ込みます。



- 16** 15番の部分をシートのフチに入れ込むと図のようになります。



- 17** シートの内側です。図のプラスチックパーツの内側に生地を入れ込みます。



- 18** シートの内側は、助手席側のシートと隙間がないため、どちらかを跳ね上げた状態で作業が行える範囲のみ、生地を入れ込みます。図のように助手席側のシートを跳ね上げて見えているシートの範囲のみ、生地をシートのフチに入れ込みます。



- 19** シートの内側は床との距離も近いので、ヘラを使用するスペースがありません。ヘラを使用する場合は、シートを跳ね上げて作業を行ってください。



- 20** シートのフチに生地を全て入れ込めたら、シートを動かしたり、シートに座り、体を動かしてみて、生地が出てこないか確認してください。カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。

助手席側



- 21** 助手席側は、運転席側と作業が異なる部分のみ説明します。カバーを装着する前に、中央席用のシートベルトのバックルを、ゴムから取り出します。



- 22** 助手席側のシートベルトのバックルには、9番のようにゴムを通して、バックル収納部の周りに生地を入れ込みます。21番でゴムから外した中央席用のシートベルトのバックルに、カバーに付いているゴムを図のように通します。



- 23** カバーのラインを整えて、2列目助手席側座面の完成です。

重要



- 24** 2列目の座面カバーの下回りは、シートのフチに生地を入れ込むだけの固定になります。しっかり固定できていれば、通常のシートの使用や、シートを動かしても、カバーが外れてくることはありません。しかし、図のように生地の手端を掴み、引っ張ると、簡単にカバーが外れます。車の振動などで、入れ込んだ生地が徐々に外れてくる場合があります。定期的にかバーの状態をチェックし、外れそうになっていないか確認してください。生地が外れそうになっている場合は、再度生地を入れ込んで調整してください。

Step4

2列目背もたれの装着方法

運転席側



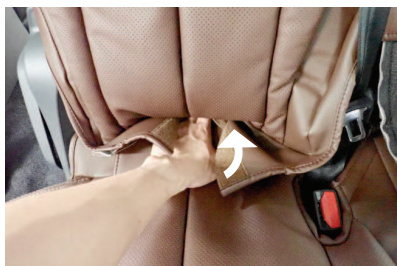
- 1** カバーのファスナーを開けておきます。中央席用のシートベルトの内側に、カバーを通します。カバーをシートに包み込むようにして、かぶせます。



- 4** ヘッドレストの台座を取り出します。



- 2** カバーをシート全体にかぶせる前に、ファスナーを5センチから10センチ程度閉じておきます。



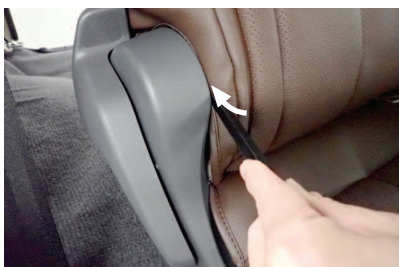
- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



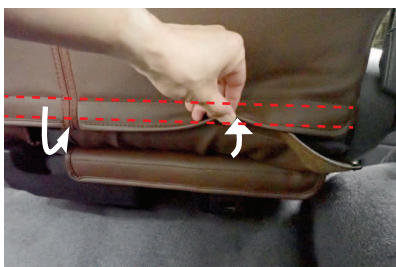
- 3** シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 6** 中央席側の下側も生地を入れ込みます。



7 シートの軸部分に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



10 8番で引き出した生地と、カバーの背面側の生地をマジックテープで固定します。ファスナーの端をカバーの中へ入れ込みます。



8 5番・6番で入れ込んだ生地を、シートの背面側から引き出します。



11 シートの背面側にある、チャイルドシート固定用アンカー部分のプラスチックパーツの隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



9 途中まで閉じていたファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーを閉める際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとする、ファスナーが破損する恐れがあります。



12 生地を全て入れ込むと、図のようになります。



13 中央席のシートベルトが出ているプラスチックパーツの隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



16 カバーのラインを整えて、運転席側背もたれの完成です。



14 生地を全て入れ込むと、図のようになります。

助手席側



17 助手席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



15 図のシートの軸部分の隙間に、生地を入れ込みます。

Step 5

ヘッドレストの装着方法



- 1** カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックの固定部材が付いている方が前になります。



- 2** 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレストの裏側で生地を寄せ合い、マジックテープを固定します。



- 4** カバーの前後をプラスチックの固定部材で固定します。



生地ごと巻き込む

- 5** カバーの前後は、フック状のプラスチックに、平らなプラスチックを**生地ごと巻き込み**、フックに入れ込み固定します。



- 6** ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10** ヘッドレストをシートから外して、1列目のヘッドレストと同様に、マジックテープとプラスチックの固定部材を固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。

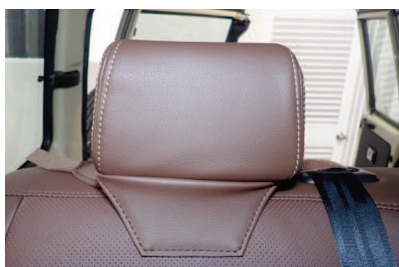
2列目ヘッドレスト



- 8** カバーをヘッドレストの片側にしっかりとかぶせます。かぶせた部分を軸として、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。カバーは平らなプラスチックの固定部材が付いている方が前になります。



- 11** 中央席のヘッドレストも同様に取り付けます。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 9** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です

完成図

1 列目



1 列目背面



2 列目



2 列目背面



2 列目タンブル状態①



2 列目タンブル状態②



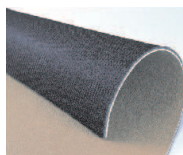


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816